## ■ Information

### 通常プレイパーク

7月　4, 11, 18, 25日（日）
毎週日曜日開催です。

### 自然あそび教室

■7月3日（土）午後１時集合
**「キノコの世界をたずねよう！」**
**～森ときのこの不思議な関係？～**

■7月１７日（土）午後１時集合
**「ちいさな生きもの大接近」**

■7月２４日（土）午後６時集合
**「宝が池ナイトプログラム」**

※用意するもの：汚れてもよい服装（長袖・長ズボンが好ましい）、運動靴、靴下、帽子（黒っぽい色はハチに攻撃されやすいので避けてください。）、タオル、飲み物、筆記用具

※自然あそび教室は、予約が必要な場合があります。詳しくは宝ヶ池ブログ（http://www.kyoto-ga.jp/takargaike_park/）または、宝ヶ池運営事務局（TEL075-352-2500/担当野田・小川）までお問い合わせください。

7月

| sun | mon | tue | wed | thu | fri | sat |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

通常プレイパーク開催日　自然遊び教室開催日

### ちょっと役立つ豆知識

Vol.6
**ゲンジボタル　（源氏蛍）**
Luciola cruciata

イモムシのような幼虫は、カワニナを食べながら成長して大きくなります。
宝が池でも見ることができるゲンジボタル。ヘイケボタルは田んぼなどで見られて、川で見られるのはゲンジボタルなんだって。
よく言われている「川がきれいじゃないと蛍が見られない」というのは、餌となるカワニナがきれいなところでないと生息していないからなのです。
もちろんこれが、蛍の生息域を狭めている一番の要因ですが、他にも川岸を護岸で覆ってしまうと幼虫が蛹になれないし、成虫が活動する夜に車のライトや外灯を点灯させるとホタルの活動の妨げとなるのです。
ほたるが生息する
川にするためには、
各成長段階に対応した環境が
必要なんだね。

### プレイリーダーより

**「夏の森の生き物を、たずねよう・探してみよう！」へ参加した感想**

●宝が池の印象
・みんなで遊びに来たいと思った。
・緑が良い！
・空気が澄んでいた。霧がかかっていて、ジメジメしていた。
・きちんと整備されていてきれいだと思いました。今までに宝が池は結構いっていて知っていたんですが、プレイパークは小さな森みたいな感じがしました。

●一日過ごした感想
・疲れたけど、発見が沢山あって、結果的に楽しくて来て良かった。
・いろいろなものが見れて楽しかったし、話もきけたので勉強になった。
・図鑑で今日見た葉について調べて見たくなりました。
・見えているようで、全く見えていなかった自然。小さい子の方が生き物を見つけるのが上手なようだ。

●その他
・シカの問題や放置林に対して考えることができてよかった。
・里山の現状、人と森の関わり方などの話を聞けてよかったです。

### REQUEST ご協力のお願い

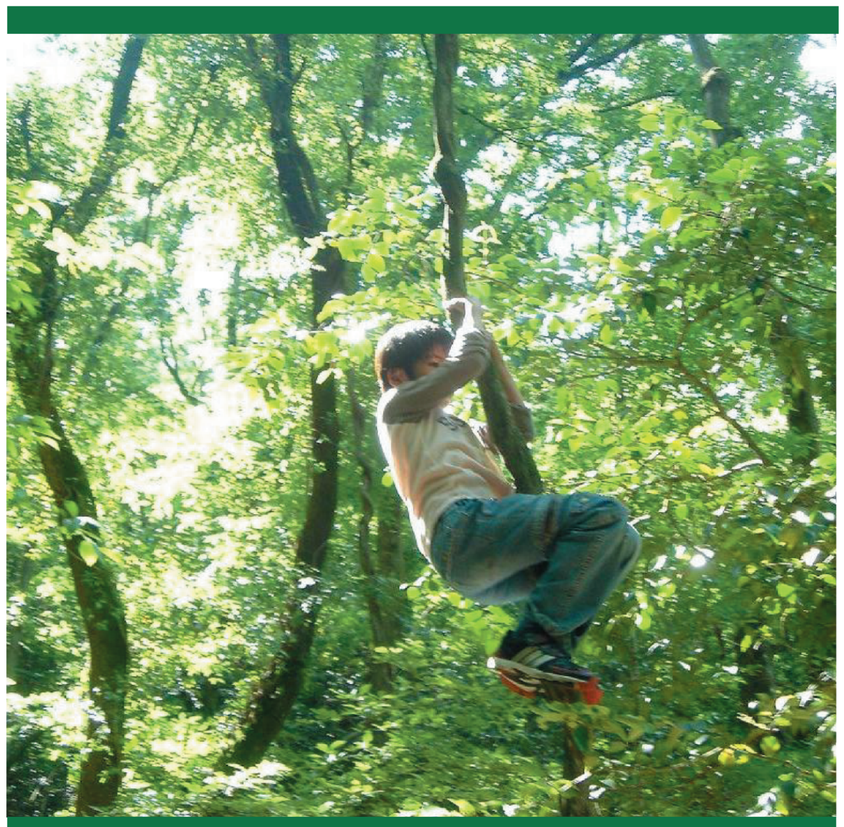
**寄付や貸出を お待ちしています！**
・家の書棚で眠っている絵本
・季節の飾り物、イベントグッズ
・あそび道具および、作るための材料
・屋外用の物置棚
・昔の道具（農具、民具）、わら（カヤ）

使わなくなったもので､これはどうだろう？と思うものがあれば、ご一報ください。

**こんな情報を 集めています！**
・宝ヶ池付近の歴史、農業、云われ
・大文字の送り火とのかかわり
・宝ヶ池付近のいきもの情報（今・昔）
・簡単な遊具の作り方　　などなど

PLAY PARK —宝が池プレイパーク—
（財）京都市都市緑化協会　宝ヶ池運営事務局（担当/野田・小川）
〒６００－８２４８　京都市下京区上中之町１－３　TEL: 075-352-2500　FAX :075-352-2226　E-mail: kaerusenpai@kyoto-ga.jp

# PLAY PARK —宝が池プレイパーク—
# NEWS LETTER 2010



梅雨に入りました！ジトジトジメジメの季節・・・。
プレイパークの小屋ではカビ対策で大忙しですが、
森の中はキノコがいっぱい！！
大きなキノコや、ぬるぬるのキノコ、砂糖菓子みたいなきのこもあります。見てるだけで楽しいなぁ～

7月号

2010年6月30日発行

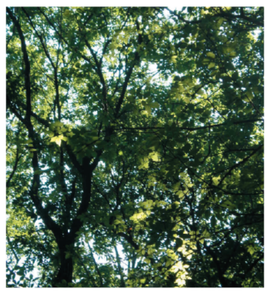


## 通常プレイパーク開催報告

日曜・祝日開催　am10:00オープン

**6月**
06（sun）
13（sun）
20（sun）
27（sun）

## The Environment Report
### 6月の宝ヶ池の様子



雨の続く６月。宝ヶ池のフィールドにはたくさんのキノコを見ることができました。シイタケの菌打ちをしたホダ木にもキクラゲ系のキノコが大量に・・・。大丈夫でしょうか・・・？
先月植えたひょうたんとヘチマの種から双葉がでました。来月には植え替えです。今年はひょうたんで色々なものが作れるといいですね。
飛んできた種から出てきたキリがどんどん大きくなり、ナンキンハゼもでてきました。クサギの周りには、コオニヤンマやチョウチョなどの虫がたくさん見られました。今年は竪穴式住居の周辺からたくさん芽を出しているので、秋の草木染が楽しみ～。先月のプログラムで作った竪穴式住居。壁がまだまだ途中で雨が滴ってきています。今月の早い時期にはササ狩りをしながら壁の完成を目指していきたいと思っています。

▲きのこや、カタツムリなど、梅雨時期らしい動植物を観察することができました。

## 自然あそび教室開催報告

開催　pm1:00オープン

### 自然あそびくらぶ 草木染め体験　＆　植物観察ゲーム

6/5（sat）晴れ

▲今日の草木染材料の説明をします。後で森に入ったら確認してね！

▲完成～！

▲リーダーのおにいさんと、絞り作業。色んな模様に挑戦してみました。

この日の材料の植物は、宝が池公園を代表する植物のひとつ“コバノミツバツツジ”と、ちょっと暗い雑木林の低木“ヒサカキ”です。
まずは、輪ゴムやタコ糸、板や小石を使って布を絞って模様をつけます。どんな模様ができるかな？
絞りが終わったら、染色です。染液に浸している間に材料の植物がある森へ。
植物のいろいろな姿と不思議にみんな夢中。おかあさんも一緒に普段は目を向ける機会がなかった山の地面を、じっくり観察することができました。
たくさんの種類の植物たちを集めて出し合うゲームもしました。“シダの根”や“ツル”、“まゆ”や“細いたけのこ”など、みんなおもしろいものをたくさん発見してくれました。ゲームをはじめると、葉っぱの形をくらべたり、シダの種類を見分けたりと、より植物の特徴をくわしく見極めることができました。
そして、“不思議”は、もっともっと探究心をあおります。顕微鏡もつかって、ミクロな世界を垣間見ます。　植物の形ひとつも、普通に目で見ている時とは、大違い！こうして、少しずつ神秘を感じてくれるとうれしいですね。

ゲームを終えたら、染めあがった布から糸やゴムを取り除きます。絞り染めで一番ドキドキする瞬間です！
思った模様に出来上がって喜ぶ声や、意外な模様に驚く声も・・・。
植物から色が出る不思議、植物の形の不思議、ミクロの世界で見る不思議・・・。たくさんの「植物の不思議」に触れたこの日、帰り際の子供たちから、「そもそも色って何？」という疑問がでました。
う～ん、素朴な疑問・・・スバラシイ！

▲森の中で、植物のいろんな形を発見

▲顕微鏡で観察

▲ゲームの様子

### 自然あそびくらぶ 森の一日　～夏の森の生き物を、たずねよう・探してみよう！～

6/19（sat）くもり

梅雨時の不安定なお天気でしたが、この日に参加してくれた女の子はとっても元気！「虫を探そう！」とフィールドに出るとすぐに､「見つけた～！！」と声が！見たら小さなカマキリの赤ちゃん。「さすが！目線が違う・・・！」とみんなで感心していると、ショウリョウバッタやゴミムシなどを次々と見つけていきます。
コメツキムシを裏返しにして、パチンッと音を立ててひっくり返る様子や、カマツカの葉の上で擬態しているナナフシモドキ、キラキラとキレイな色をしたハンミョウを見て、自然の不思議に大興奮？！でした。
フィールドの中を自由に探索しながらの、のんびりとしたプログラムの中で、子供だけでなく、スタッフやリーダー、おとうさん、おかあさんも昆虫の世界を存分に楽しむことができました。